

Table with header information: 基本事業コード 10010001, 担当課所名 吉田総合支所市民福祉課, 基本事業名 吉田総合支所市民福祉事務, 分野 6 行財政運営, 政策 1 行政運営, 施策 -

基本事業の概要 主に吉田総合支所管内在住の市民及び近隣の市民に対し、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、福祉部等で行っている行政サービスの一部を提供して、本庁まで訪れなくても用事が済むように利便性を高める。さらに、住民と身近に接することの中から信頼関係を築き、住民との協働によるまちづくりや、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進する。また、本庁各部署と連携して事務の効率化を図る。

対象 (主に) 吉田総合支所管内在住の市民/吉田総合支所職員
(対象をどのようにしたいか) 地域に密着した行政サービスを提供する/効率的に事務を進められるようにする

Table with 7 columns: 基本事業指標, 指標の算式, 単位, 27年度 過年度実績値, 評価年度(28年度) 目標値, 実績値, 30年度 目標値, 他団体の指標(数値)

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

Main performance table with columns: 枝番号, 事務事業名, 指標, 28年度 目標値(上段), 実績値(下段), 単位, 事務事業評価, 重点化

Summary table for costs: (参考)最終予算額(円), 事業費の合計(円), 財源内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他特定一般財源), 正規職員 (業務量, 人件費), 臨時職員 (業務量, 人件費), 事業費合計(人件費込み)

【重点化欄】
◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)
○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)
Table with 5 columns: 成果の方向性, 拡充, 維持, 縮小, 休廃止, 評価結果

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか？ 基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？
基本事業指標の分析	吉田総合支所市民福祉課は、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、福祉部、保健医療部等と連携し業務を行っており、その他にも地域に密着した各種行政サービスを提供している。主に吉田地域の住民が本庁まで訪れなくても要件が済むよう各事業を充実させ、利便性を高め、行政サービスの窓口として各事業を充実させることが目的のため、目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 主に吉田総合支所管内在住の市民に対し、本庁の市民部、福祉部、保健医療部等で行っている事務の提供や、住民との協働によるまちづくり、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進することは、地方自治体として必要なことで妥当である。支所管内の市民に対する行政サービスの窓口として、総合支所を安全な状態に維持し、行政サービスの効率化を進められるようにする。具体的には、庁舎設備、警備や清掃、点検などの各種委託業務OA機器のリースなど効率よく事務が進められることも重要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 地域が広範なため、高齢化が進んでいる地区も多く、市民に密着した行政サービスは今後も必要とされる。行政事務については市で行う必要があり、市民と身近に接することの中から、信頼を築き、住民との協働によるまちづくりを推進していく必要がある。

◆改善提案◆ (事中評価の際の改善提案を含む)

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述		
吉田地域は山間部に位置し、高齢化率が高い。また、吉田・大田地区には、路線バス、電車が一部空白の地区があるため、住民の生活手段として吉田・大田地区乗合タクシーの運行は必要不可欠な事業である。 また29年3月には本庁舎が完成し、議会事務局が移転となった。老朽化している総合支所及び振興会館を適切に管理、運用する。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	総合支所の窓口として、地域住民の複雑な要望に速やかに対応できるよう、情報の共有や職員間の連絡を密にし、地域振興課との連携強化に努める。	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 本庁まで訪れなくても要件が済むよう、各種業務を充実させ、利便性を高める。また新たなサービス事業を周知し、必要とする利用者のサービス向上を図る。 協働によるまちづくり活動に関しては、各種団体との連携、協力体制の一層の充実を図る。 新たに担当となった職員は意欲的に研修に参加し知識の取得に励んでいる。新採の職員は積極的に窓口対応を行っている。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(7)組織力の向上
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案	振興会館2階、旧議会事務局の部屋を、ヤソトン市との姉妹都市交流事業で寄贈された記念品の展示スペースとし、希望者に自由に見学してもらうように活用する。	平成23年度から、震災に伴い議会事務局が振興会館の2階、3階に移転したが、今年度末には新庁舎の完成に伴い、再度移転となる予定である。振興会館は通年で利用が可能となるため、利用の促進、今後の活用を検討する。 参加が見込まれる高齢者対策に向けて、地域住民の協力が得られる地域づくりを推進する。 旧議場、議員控室、議会事務局等の部屋は移転前の状態に復活させた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(1)公共施設等ファシリティマネジメントの推進
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案	協働によるまちづくり推進のため、吉田地区各町会、各種団体等との連携意識を高める。吉田地区町会長連絡協議会に対しては、敬老会、よいとこ祭り等の共催者として連携を強化する。	吉田総合支所及び振興会館の各種設備等が老朽化しているため、必要な改修等を実施しつつ適切な維持管理に努める。  適宜修繕を行った(振興会館屋上の受水槽塗装、3階会議室西側手すり塗装、2階会議室の不燃カーテンの取換え等)。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(5)民間活力の活用促進
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
窓口業務の充実、及び既存の施設の有効活用により、市民の満足度が向上する。各種団体との協働により、まちづくりの意識が向上する。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	坂本 雄司	電話番号 0494-72-6082
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	10020001	担当課所名	吉田総合支所地域振興課
<b>基本事業名 吉田総合支所地域振興事務</b>			
総合振興計画 の位置づけ と関係	分野	6	行財政運営
	政策	1	行政運営
	施策	-	-
			総合振興計画 75 ページ

**基本事業の概要** 吉田総合支所管内の市民に対して、本庁の環境部、産業観光部、地域整備部で行っている行政サービスの一部を提供して利便性を高めるとともに、自主事業として指定管理施設等の管理運営や誘客を行い地域産業の振興を図る。

**対象** 吉田支所管内の市民及び吉田を訪れる方  
**意図** 地域に密着したサービスを提供するとともに、地域振興を図り観光誘客を推進する。  
(対象をどのようにしたいか)

基本事業指標	指標の算式	単位	27年度	評価年度(28年度)		30年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
吉田地域を訪れる入込観光客数	本年度来客数	人	514,500	550,000	477,797	490,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			28年度	単位	事務事業評価 30年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		27年度決算額	28年度決算額	29年度予算額	実績値(下段)			
01	本庁環境部との共同事業	指標	-	-	-		A	
		0	0	0			維持	維持
02	本庁産業観光部との共同事業	指標	-	-	-		A	
		0	0	0			維持	維持
03	本庁地域整備部との共同事業	指標	-	-	-		A	
		0	0	0			維持	維持
04	農業関連施設維持管理事業(吉田地区農村公園管理費)	指標	施設数			施設	A	
		2,338,104	2,338,104	2,339,000	3		維持	維持
05	自然公園施設等維持管理事業	指標	管理業務実施回数			回	A	
		31,736	35,527	38,000	14		維持	維持
06	山逢の里誘客管理事業	指標	利用人数			人	B	○
		3,121,881	3,121,881	5,995,000	6,522		維持	拡充
07	高齢者生産活動センター維持管理事業	指標	売上高			千円	A	
		2,583,729	2,730,109	2,396,000	46,569		維持	維持
08	龍勢会館誘客施設管理事業	指標	利用人数			人	B	
		3,359,383	3,359,383	5,890,000	7,234		維持	拡充
09	みどりの村関連誘客施設管理事業	指標	利用人数			人	B	
		670,993	670,993	683,000	1,377		維持	拡充
10	吉田石間交流学習館施設維持管理事業	指標	利用人数			人	B	
		2,404,079	2,171,147	2,676,000	449		維持	拡充
11	城峯山ふれあいの森誘客施設管理事業	指標	利用人数			人	B	
		1,998,960	1,998,960	2,000,000	531		維持	拡充
12	元気村誘客施設管理事業	指標	利用人数			人	B	◎
		6,791,600	7,380,000	12,078,000	19483		維持	拡充
13	上下流交流事業	指標	イベント参加者			人	A	
		61,303	67,318	177,000	111		維持	維持
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 24,865,000 24,533,000

事業費の合計(円)		(A)	23,361,768	23,873,422	34,272,000
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		37,800	37,800	37,800
	地方債		125,450	119,050	
	その他特定一般財源		23,198,518	23,716,572	34,234,200
正規職員	業務量		8.00人	7.00人	
	人件費(B)		48,481,904	41,908,867	
臨時職員(事業費に含む)	業務量			0.78人	
	人件費			951,243	
事業費合計(人件費込み)		(円) (A)+(B)	71,843,672	65,782,289	

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C,B	B,C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？
基本事業指標の分析	農業関連施設、観光関連施設の入込客数を増大することにより地域の活性化が図れる。行ってみたい住んでみたい街づくりを推進することで多くの観光客が訪れることになるため、指標の設定は妥当である。 実績値は算出根拠の見直しを行ったため数値が減少して。そのため新しい積算根拠による28年度実績値をもとに、30年度の目標値を見直した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 本庁環境部、産業観光部、地域整備部と連携して吉田地域の振興を図っている。幹線道路の整備、遊休農地対策など農林業振興、龍勢を始めとする観光の推進など地域住民の生活環境の向上とともに、自然に親しむ集客イベントを行っている。また、道の駅龍勢会館を拠点とする情報の発信等、各施設の管理運営を指定管理することにより効率的な運営を行っている。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 行政事務に関しては秩父市で行うことが適切であり、施設管理については条例により指定管理者を指定して管理することが適切である。また高齢者活動生産センター等については、市の第3セクター「(株)龍勢のよしだ」で運営することにより6次産業化等の推進や特産品開発による地域の活性化に寄与できるため妥当である。

◆改善提案◆ (事中評価の際の改善提案を含む)

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述		
元気村、山逢の里とも吉田地区で利用者数の多い宿泊施設であり、利用者が拡大すれば基本事業指標である入込客数が増加するとともに、周辺施設に与える経済効果等も高いため重点化した。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組み改善提案	施設の維持管理事業については日々の点検を指定管理者に徹底し運営に支障がでないよう安全管理に努める。 また、より良いサービスが提供できるよう指定管理者との連絡調整体制を強化する。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(3)基本事業・事務事業の継続的改善
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組み改善提案		
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
中長期的(3~5年)に取り組み改善提案	利用率・稼働率の低い施設については、ファシリティマネジメントの観点により、将来的な維持管理方法の見直しを行う。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(1)公共施設等ファシリティマネジメントの推進
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
定期的な維持管理を行うことにより運営により運営に支障がなく、気持ちよく利用していただくことにより、リピーターが増え、その他周辺施設の利用も拡大する。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	根津 均	電話番号 0494-72-6083
----------------------	------	----------------------